

# 敦賀市民間最終処分場環境保全対策協議会

## 浄化促進対策工事

—今後の進め方について—

## 3-1 浄化促進を進める上での基本方針と確認事項

### ■浄化促進の目標

- ・ 浸出液が早期に排水基準以下となるよう、適切な対策を講じること。

### ■浄化促進対策

- ・ 空気注入による浄化促進
- ・ 水注入による浄化促進

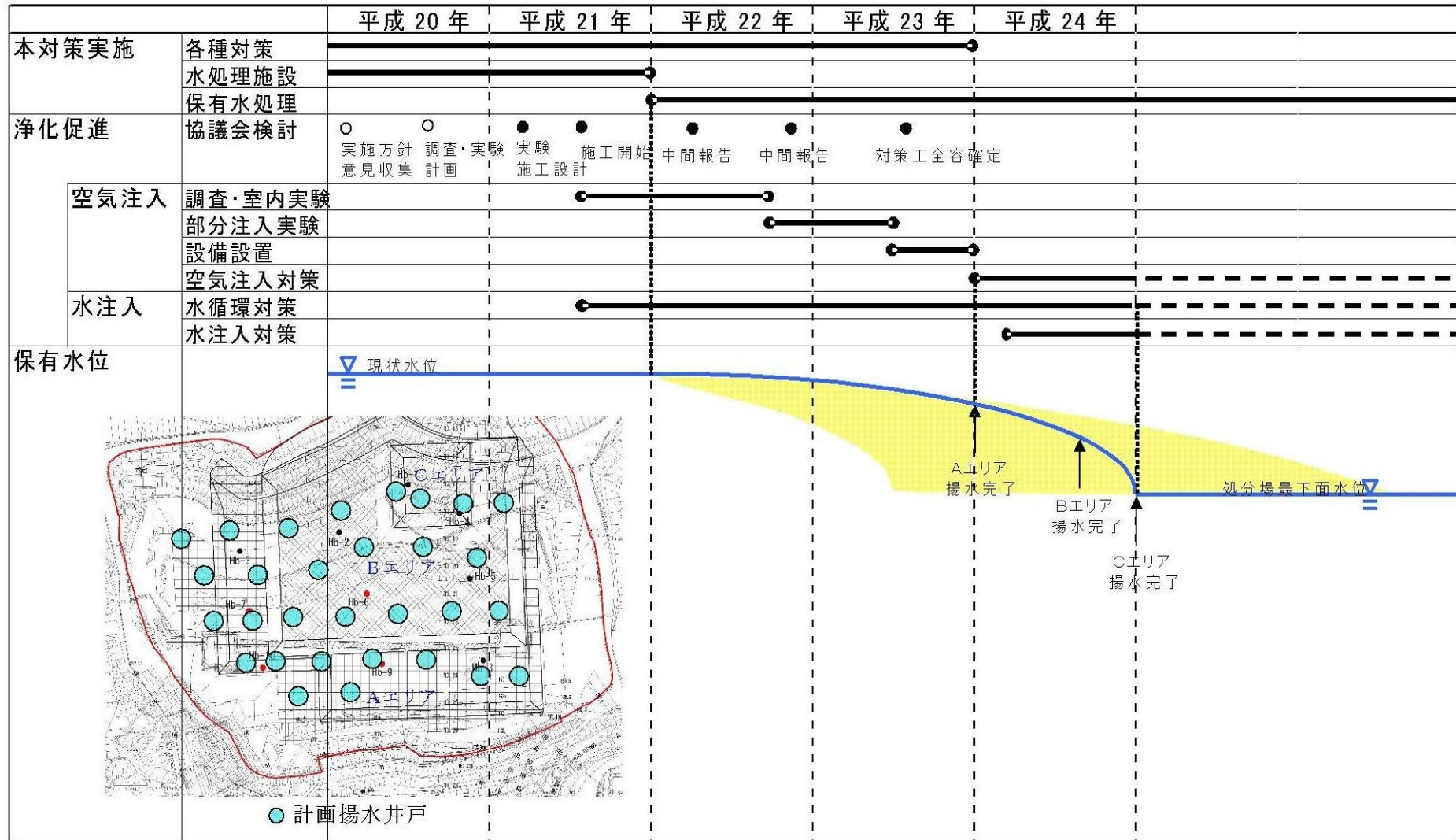
### ■処分場内の状況

- ・ 僅かながら改善の傾向がみられる。
- ・ 今後、工事効果の発現による地下水環境が刻々変化

### ■浄化促進対策の段階的实施

- ①漏水対策工事中・・・計画、実施設計、試験施工の実施
- ②保有水位低下中・・・試験施工および修正設計
- ③保有水位低下後・・・本格対策実施

## 3-2 浄化促進工事のスケジュール（案）



### 3-3 浄化促進工事を進める上での基本事項の整理

- (1) 蓄積データによる時系列評価と浄化予測
- (2) 実施計画における技術的課題事項の抽出・整理
  - ①対象物質の絞り込み
  - ②対策対象範囲の絞り込み
  - ③浄化方法、機器設備等に関する具体的手法選定
  - ④効果確認方法（観測体制）
  - ⑤工事の実施スケジュール
- (3) 施工時における評価分析方法について  
評価分析時期の計画、検討手法
- (4) 最新の浄化技術に関する実績資料収集整理
- (5) その他施工に関係すること

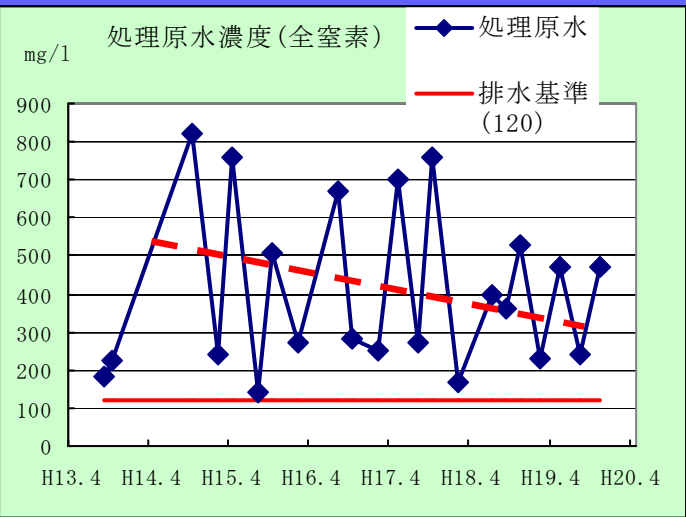
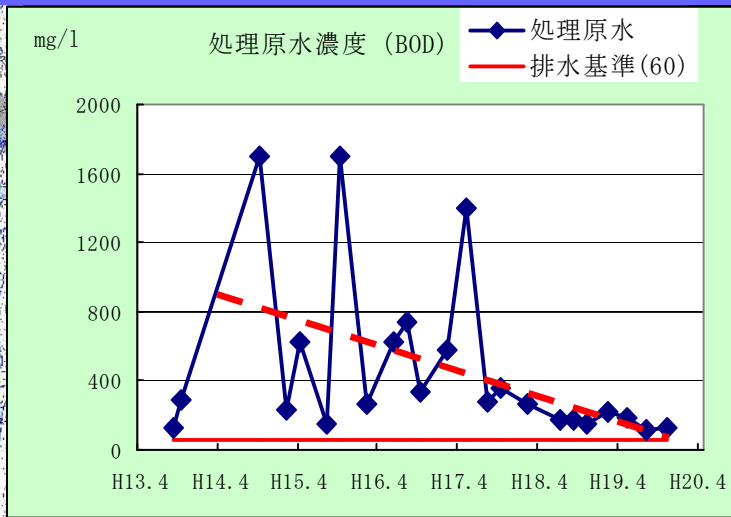
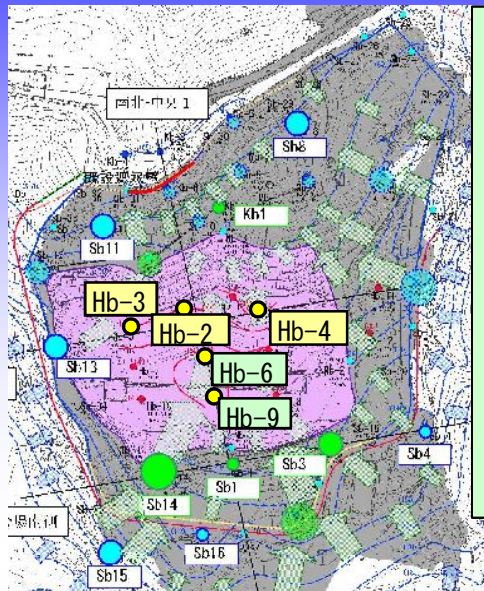
### 3-3.(1) 処分場内廃棄物の性状について

- ①観測箇所の水質は、近年僅かながら徐々に改善傾向を示している。
- ②発生ガスに関しても、水質同様の傾向を示している。
- ③水質変動に降雨（浸透作用）に起因する影響が顕著であること。
- ④保有水位は、  
処分場内の上段部でE.L.+145m程度  
下段部                   でE.L.+140m程度  
揚水箇所付近        でE.L.+130~135m  
ほぼ一定で推移し、近年は、大局的に低下傾向。  
年間降水量  
(H19:2,065mm, H18:1,909mm, H17:2,642mm, H16:2,195mm)

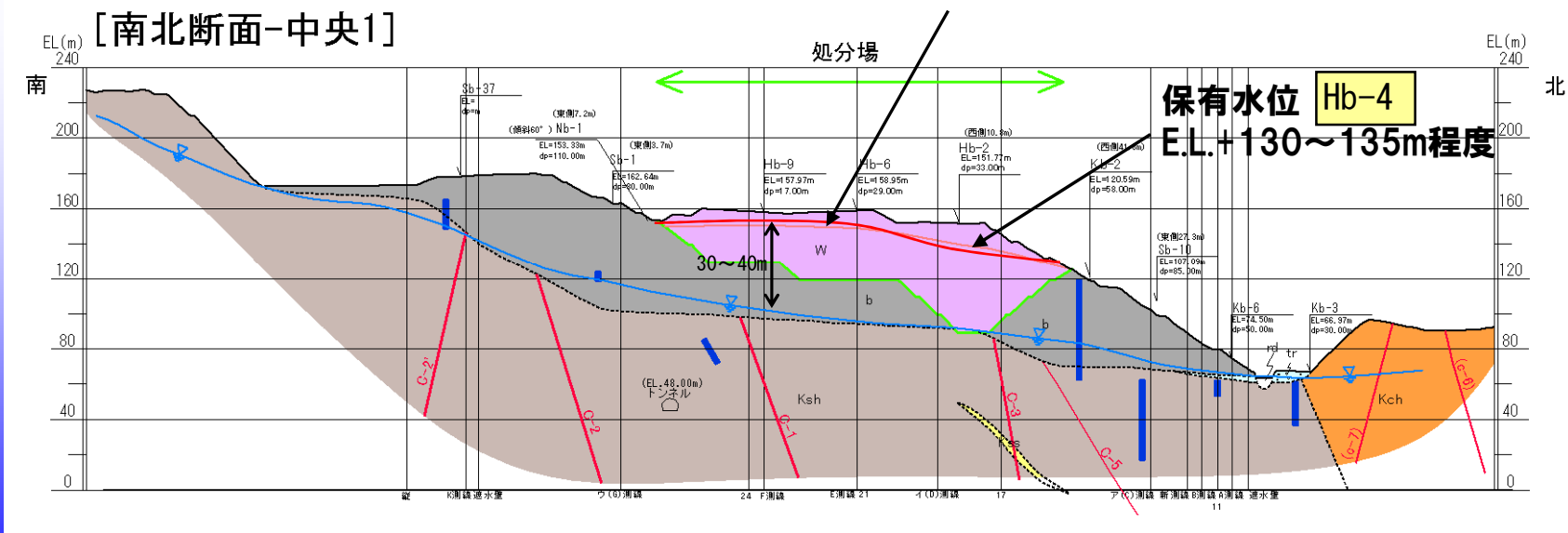


浄化予測のための基礎資料の蓄積と検証

# 3-3.(1) 処分場内地下水の性状について

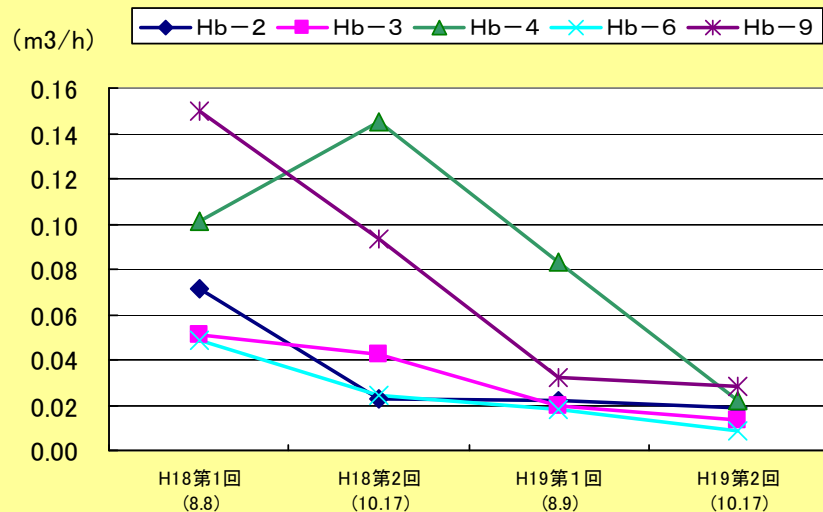


保有水位 Hb-6, 9  
E.L.+145m程度

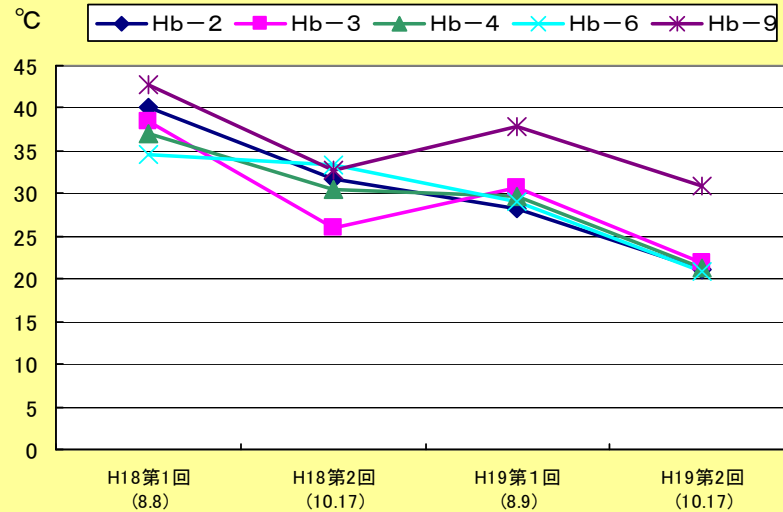


# 3-3. (1) 処分場内発生ガスの変動傾向について

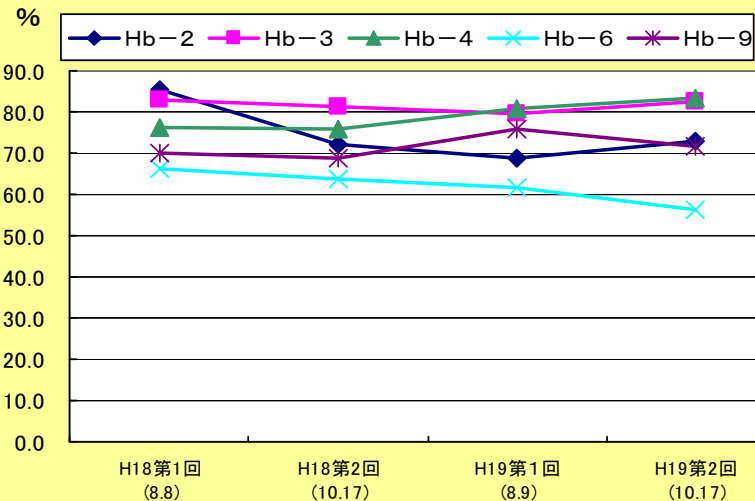
## 発生ガス流量



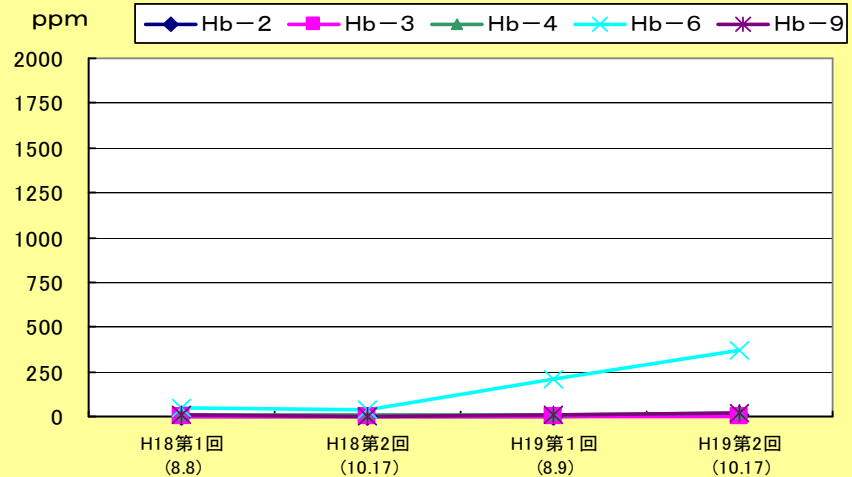
## 発生ガス温度



## メタン



## 硫化水素

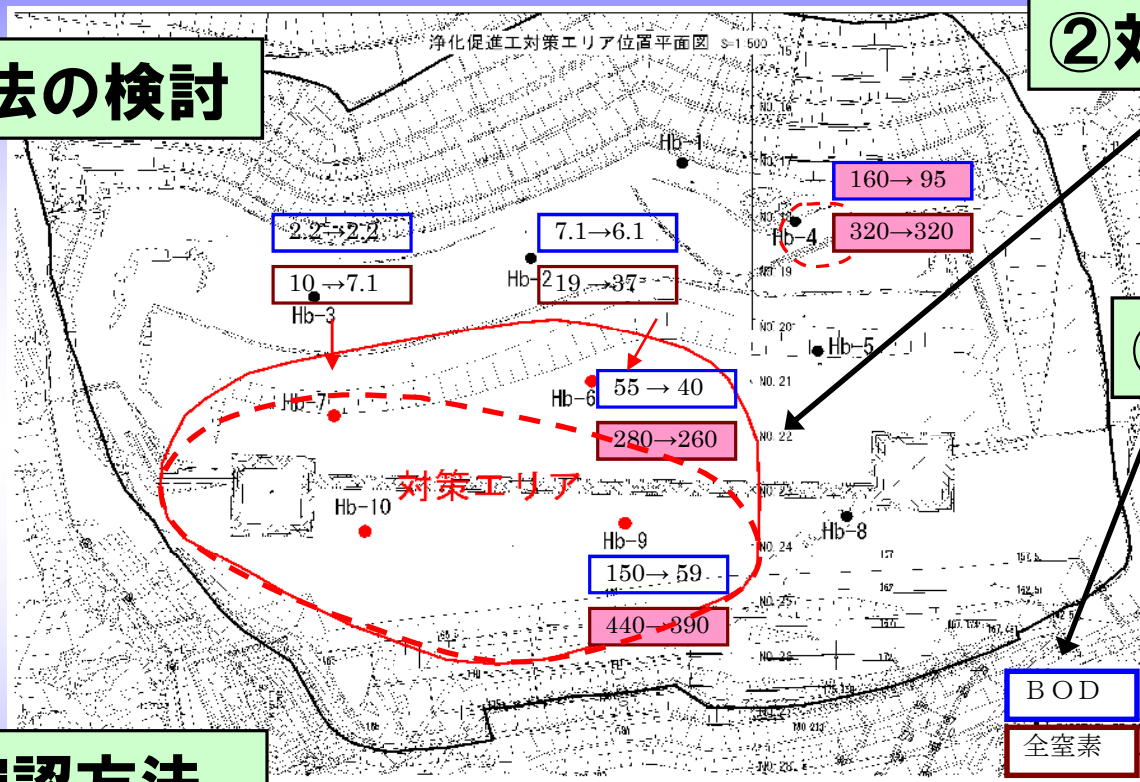


### 3-3. (2) 浄化促進工事の技術的検討事項

③ 浄化方法の検討

② 対策対象範囲

① 対象物質



④ 効果確認方法  
(観測体制)

⑤ 工事の実施スケジュール

↓

具体的工法の確立

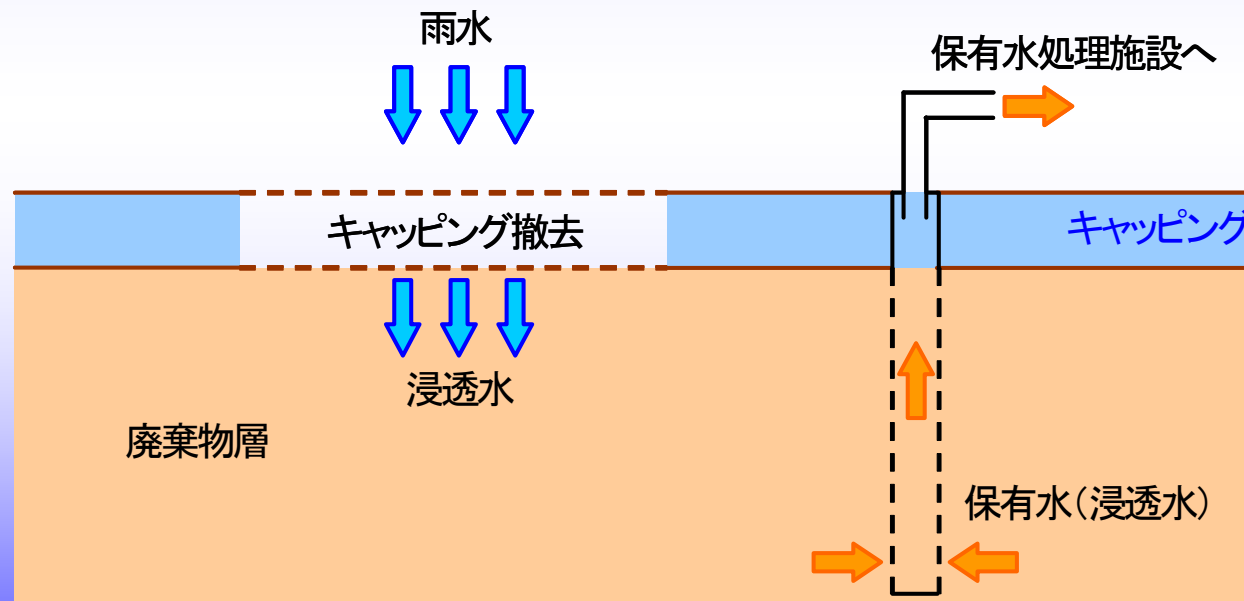


### 3-3. (2) 浄化促進工事の手法の検討について

#### ③ 浄化方法

水注入

対象範囲  
開始時期  
効果確認方法  
制御・維持管理

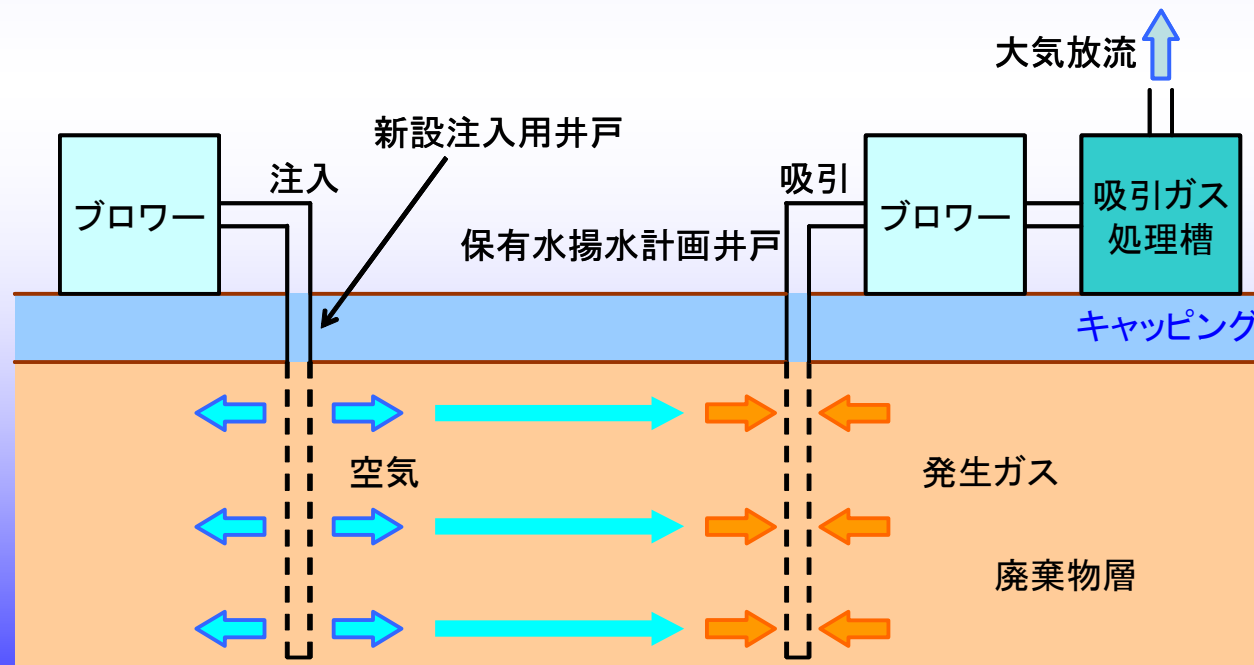


### 3-3.(2) 浄化促進工事の手法の検討について

#### ③ 浄化方法

空気注入

機器設備  
配置計画  
開始時期  
制御・維持管理  
効果確認方法

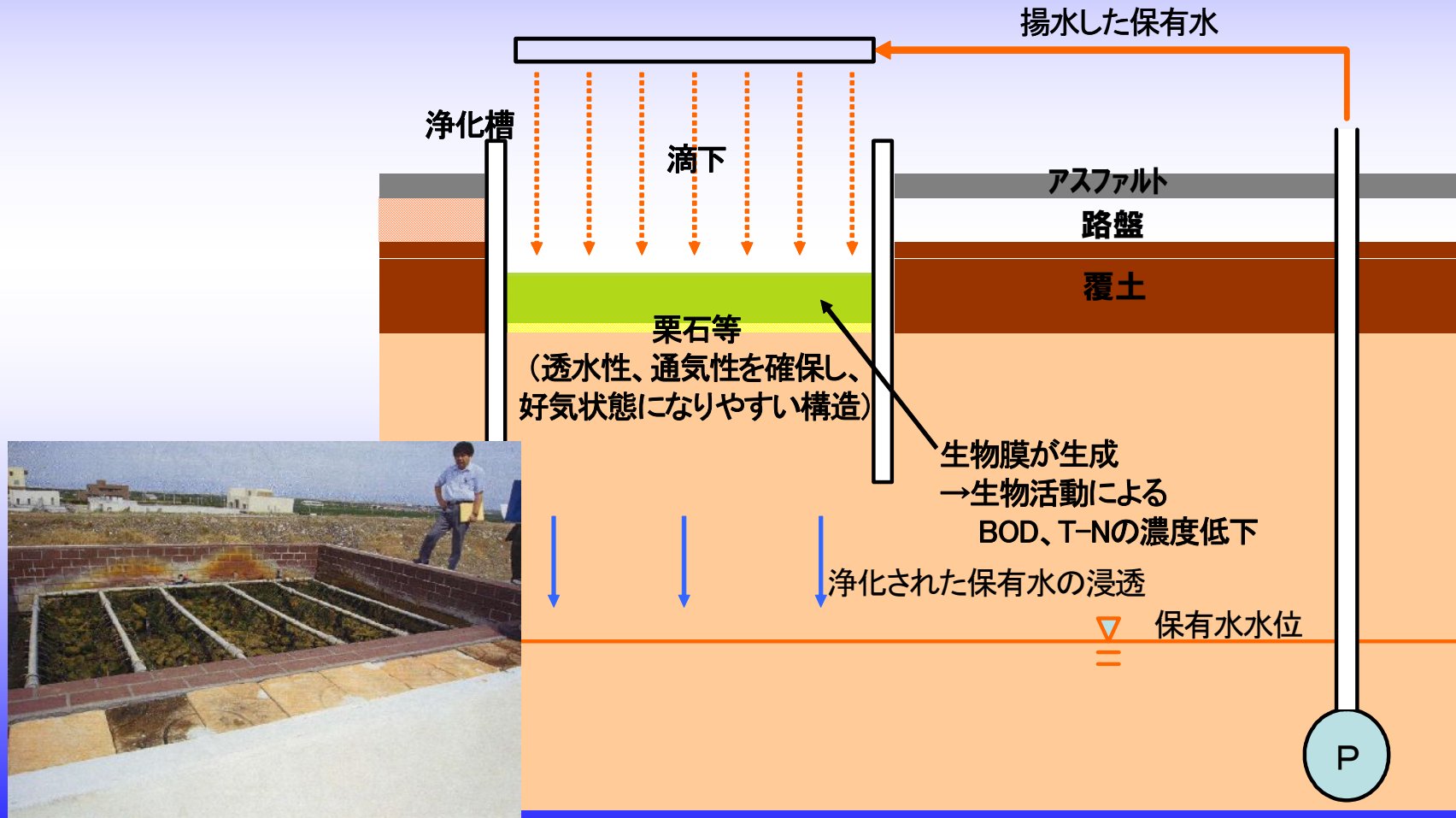


### 3-3.(2) 浄化促進工事の手法の検討について

#### ③ 浄化方法

水循環

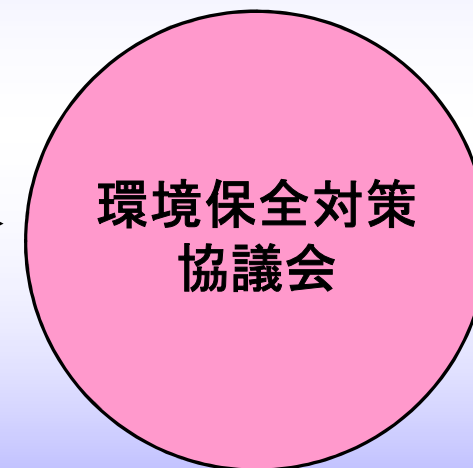
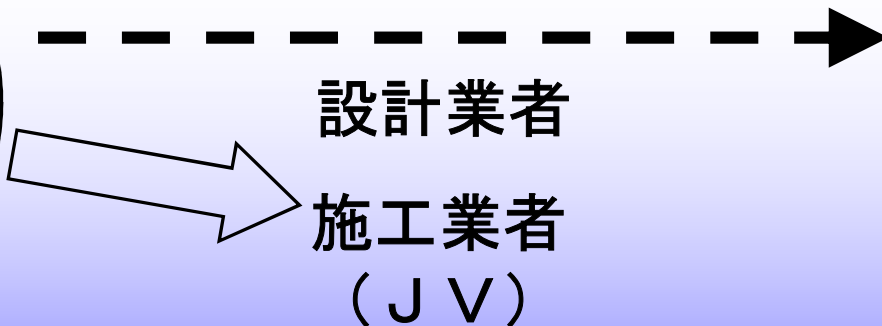
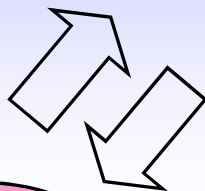
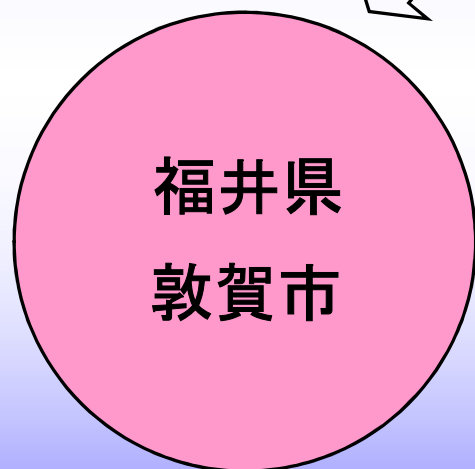
実施位置  
制御・維持管理  
効果確認方法



## ■浄化促進工事に関わる専門部会の設置について

### (仮称)浄化促進技術検討部会

- (1) 浄化促進工事に関する技術的検討
  - ①実施設計
  - ②施工計画, 施工監理
  - ③施工効果の検討・評価
- (2) 専門部会メンバー (案)
  - ・協議会専門委員等→今後協議
  - ・県, 市  
(設計業者)
- (3) 部会の運営については今後協議



効果的かつ合理的な手法として、試験⇔施工⇔評価（効果）を確認しながら進めるための計画、手順について、専門部会を設置し、部会の運営方法も含めて協議を開始予定。